

ここが知りたい!

# 宮城県政

## ～復興へ頑張ろう!～

**空港、震災前に復活**

仙台空港は、米軍や自衛隊の支援により、震災発生から4日後には、救援物資の緊急輸送拠点として機能し、約1カ月後には、一般乗客を対象とした国内線の運航が再開しました。

その後、昨年10月までに空港機能、空港アクセス鉄道ともに全面復旧しました。定期路線数は、今年7月に完全に震災前の状態に復活し、さらに、10月18日からは中国東方航空による上海線の新規就航も予定されています。本県の復興をリードしていくとともに、仙台空港のさらなる発展と利便性向上のため、定期路線の増便、新規路線の開通に向けたエアポートセールスを今後も展開していきます。

### 宮城県の復興

**陸・海・空 交通インフラの復旧・復興は**

東日本大震災で物流網が分断される中、宮城県内の道路・港湾・空港の交通インフラは応急復旧により早期に機能を取り戻し、緊急物資輸送やその後の復興活動を可能としました。産業を復興し東北の発展と宮城の飛躍を支える基盤として、また、大規模災害時にも生活や経済活動を支える基盤として、高規格幹線道路や港湾、空港などの交通インフラの着実な整備をこれからも推進していきます。

**防災道路網を強化**

東日本大震災の発生後、ほとんどの高速道路は地震・津波による大きな被害を受けることなく通行が可能で、救命救命活動や緊急物資輸送で重要な役割を果たし、命の道と称されました。また、沿岸部における盛土構造の高速道路は、津波被害を軽減する効果を発揮したほか、近隣に高台が無い低平地の住民の緊急避難先ともなりました。

県管理道路は、震災による全面通行止め137カ所が、現在では3カ所を残すのみと着実に復旧が進んでいます。

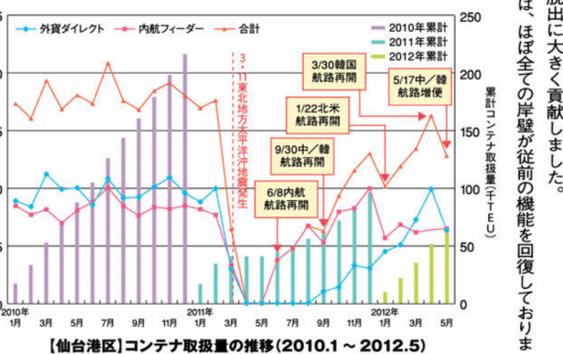
今後起こりうる大規模災害に備えるため、沿岸部の縦軸を形成する「三陸縦貫自動車道」などの高速道路整備や、東西軸を形成する「みやぎ県北高速幹線道路」などの広域道路網の整備により、防災道路ネットワークの強化を目指します。

### 港湾機能ほぼ回復

港湾は、速やかな支障物撤去作業などにより、早期から緊急物資輸送拠点としての機能を果たしました。特に仙台塩釜港(塩釜港区)の油槽所は、仙台港で被災した燃料基地の機能代替として、深刻化しつづけた県内の燃料危機脱出に大きく貢献しました。

現在、県内の主要港では、ほぼ全ての岸壁が従前の機能を回復しており、また、仙台塩釜港(仙台港)では、コンテナ定期航路なども順次再開し、2012年1～5月の累計コンテナ取扱量は、一昨年同期累計に対し約75%の回復となっております。

今後は、産業の復興と発展を目指し、港湾機能の再生と強化を進めるとともに、津波防御・減災対策の推進や耐震岸壁等の充実など災害に強い臨海地区の形成に努めています。



# 宮城県は震災復興に全力で取り組んでいます

## 東北の玄関 完全復興へ前進

### ■仙台空港ビル(名取市)

仙台空港は3.11の津波に襲われ、ビルや滑走路が崩壊し埋め尽くされた。それでも、約1カ月後には国内線が暫定的に運航を再開。半年後の昨年9月には国際定期便が再開し、空港機能はほぼ完全な復旧を遂げた。

旅客ターミナルビルの運営会社である仙台空港ビル伊藤社長は「輸送のいち早い再開で、東北の復興に弾みが付いた」と語る。

国内定期便は今年7月30日現在、全8路線で震災前より多い1日44往復を運航。復興関係のビジネスや視察の需要が伸び、今年4～6月の旅客数は95.8%(2010年比)まで回復した。

国際線は7月に全6路線が再開し、震災前比85%の週17往復を運航する。4～6月の旅客数は72.4%(2010年比)。伊藤社長は「航空網は再構築したが、福島第1原発事故による風評被害で、中国を中心に入国者が回復していない」と話す。

だが「今後、中国から観光客が押し寄せていく」とし、中国人観光客が岩手、宮城、福島に被災3県で泊れる3年間自由に来日できる「数次査証(ビザ)」の発給が7月から導入されたこと、「中国に出国して復興状況や安全性をアピールしています。観光業界と連携して多くの観光客を迎えたい」と期待する。

旅行者だけでなく、空港は、被災を忘れさせるほどまで復旧したが、東日本大震災を語り継ぐため、押し寄せた津波の高さを示す標識を設けた。

「震災で高まった認知度を生かし、東北の玄関口として、震災前以上の集客につなげたい」と意気込んでいる。



東北の玄関口として復興が進む仙台空港と伊藤社長

### 三陸縦貫自動車道など高規格幹線道路の整備促進

三陸沿岸から仙台湾沿岸、南部平野まで南北に結び、今回の大地震においても「命の道」として重要な役割を果たした三陸縦貫自動車道や常盤自動車道の整備を促進します。「復興道路」に位置付けられる三陸縦貫自動車道については、仙台松島道路の4車線化をさらに整備促進するなど、沿岸部の縦軸を強化します。

### 圏域間の相互連携強化のための広域道路網の整備促進

太平洋沿岸地域と日本海沿岸地域との東西軸を強化するため、みやぎ県北高速幹線道路の整備を推進するとともに、石巻新庄道路の整備を促進します。また、隣接県との広域連携を強化するため、国道347号や398号などの県際道路の整備を推進し、地域間交流の強化・拡大を図ります。隣接市町村間の連携強化に向けては国道346号や、主要地方道・古川松山線など都県境道路の整備を推進します。

### 災害時の孤立集落解消へ災害に強い道路整備の促進

今回の震災を踏まえ、沿岸部の半島部や離島では災害時における孤立解消を図るため、半島部(牡鹿半島など)からの避難道路や、離島架橋(気仙沼市の大島架橋)を整備します。

### 仙台塩釜港における自動車関連産業への対応

今年7月、本県に本社を置くトヨタ自動車東日本が発足するなど、東北を国内第3の自動車生産拠点にする動きが本格化しています。完成自動車取扱量の増加に対応するため、仙台塩釜港のモータープールを拡張します。大型輸送船が入港できるように、雷沖埠頭(ふと)を水深7.5mから9mに深くする工事を耐震工事などを実施。加速度的に進化する自動車関連産業の拠点化に対応していきます。

### 仙台空港利用促進事業

東北の空の玄関口として広域的に利用されることを目的に、就職会社や関係機関へのエアポートセールスを実施するほか、就職地間の利用促進イベントなどを開催しています。

## 目指せ東北の国際拠点港湾

### ■塩釜港運送(塩釜市)

塩釜市に本社を置く企業だが、倉庫など物流拠点施設の大半は仙台塩釜港にある。国際コンテナ貨物などを扱う新拠点「仙台ロジスティクスセンター」の完成を祝った式典当日、大震災が襲った。誕生したばかりの大型施設を含む5棟の自社倉庫が津波で被災した。

「目の前が真っ暗になったが、やるべきことがたくさんあったので、自分たちの力で立ち上がった。仙台塩釜港の機能を回復し、物が流れるようにするのが私たちの仕事。できることから実行した」。岸野康一社長は語る。

塩釜港で無事だった重機をフルに投入し、ロジスティクスセンターを復旧。4月には使用可能になり、緊急支援物資や仮設住宅資材などの受け入れ基地になった。失った倉庫も修復、新設を急ぎ機能を高めた。

宮城県は港湾の災害廃棄物撤去や機能回復に全力を注ぐ。震災1カ月後の4月16日には完成自動車の積み出しが始まり、コンテナの流失被害が大きかった高砂ターミナルでも6月8日、コンテナの取り扱いが再開した。

「コンテナ取扱量は震災前の7割強まで回復した。ただ、輸出の戻りが鈍く、外航船が少ないのも気掛かり。輸出入を完了する国際拠点港湾を目指すなら、もっとポートセールスに努めないといけない。自動車ヤードも効率的に使えるような工夫が必要だ」。貿易活発化を目指す岸野社長は高い目標を設定した。



塩釜港の船舶を見ながら物流復興について語る岸野社長

企画/県広報課 ◎お問い合わせ/県土木総務課 022(211)3108

# 県からのお知らせ

### 宮城県任期付職員募集について

●職種および採用予定人員/税務事務12人程度、用地補償事務37人程度、保健師10人程度  
●派遣先市町/石巻市、塩釜市、気仙沼市、名取市、多賀城市、東松島市、山元町、松島町、南三陸町  
●任期(予定)/平成25年1月1日～平成26年12月31日(2年間)  
●市町の状況などにより、採用の日から5年以内の範囲で更新されることがあります。  
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。  
◎ 県人事課 ☎ 022(211)2227  
http://www.pref.miyagi.jp/zinzi/

### 宮城県立病院機構職員募集

●募集職種および採用予定人員/①事務(社会人経験者)若干名 ②医療事務若干名 ③薬剤師3人程度 ④臨床工学技士1人程度 ⑤診療放射線技師7人程度  
●試験日/①②10月14日(日)③④10月20日(土)⑤10月21日(日)  
●申込期限/9月20日(木)(消印有効)  
詳しくは、下記ホームページをご覧ください。  
◎ 県立病院機構本部事務局企画総務課 ☎ 022(211)2682  
http://www.miyagi-pho.jp/

### 9月9日は「救急の日」です

この機会に、自分の健康を自分で守るため、正しい応急手当を身に付けるほか、休日や夜間の当番医などを確かめ、いざという時に備えましょう。

### 【医療機関を受診する際のお問い合わせ】

○かかりつけ医/持ち、早めの受診を心掛けましょう。  
○症状が比較的軽い場合は、医療スタッフがそろった平日の日中など、診療時間内に受診し、安易な時間外受診はやめましょう。  
救急医療が本来の役割を十分に果たせるよう、県民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。  
◎ 県医療整備課 ☎ 022(211)2622

### 里山林の管理基礎講座

●内容/人工林および雑木林の手入れ、道具の使い方やメンテナンスの基礎的な講義と実習  
●対象/全回受講可能な方  
●定員/15人(応募多数の場合抽選)  
●日時/①10月7日(日)②10月21日(日)③11月4日(日)④11月18日(日)午前9時30分～午後4時(宮城県林業技術総合センター(参加費無料、昼食各自持参))  
●申し込み/9月14日(金)(消印有効)までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望理由(文字数任意)を記入し、下記へ  
◎ 県林業技術総合センター ☎ 022(345)2816  
〒981-3602 大衡村大衡字はぬ木 14

### 灯油類の取り扱いに注意しましょう

秋から冬にかけて灯油を使用する機会が多くなり、家庭のホームタンクからポリタンクに灯油を移すときなどに、目を離したり、バルブを開め忘れたりしたために灯油が流出する事故が増えてきます。  
流れた灯油は、水路や河川に流れ出て水環境を汚染するほか、火災の原因となり重大な生命や財産が失われる危険もあります。  
灯油類の取り扱いに当たっては十分な注意をお願いします。  
もしも灯油類が流出したら、速やかに県

### 土木事務所、市町村または消防署に連絡してください。

◎ 県河川課 ☎ 022(211)3172

### 「子どもたちの読み聞かせボランティア養成講座」受講者募集

絵本の読み聞かせ活動について基本的知識や技能などを学習します(無料)。  
●対象/定員/18歳以上の宮城県民で全回受講可能な方・各会場30人程度(先着順)  
●期日/場所/①10月3日(水)、30日(火)、11月28日(水)、12月18日(火)(全4回)・七ヶ浜町中央公民館 ②11月14日(水)、21日(水)、28日(水)、12月5日(水)(全4回)・岩沼市民図書館  
●申し込み/①は9月15日(土)まで、②は10月16日(火)までに直接下記窓口へ  
◎ 七ヶ浜町中央公民館 ☎ 022(357)3302  
◎ 岩沼市民図書館 ☎ 0223(24)3131

### みやぎの農業試験研究の一般公開

●内容/農業の試験研究に関する体験など  
●日時/10月6日(土)午前10時～午後3時  
【農園体験デー】  
●場所/県農業・園芸総合研究所  
●申し込み/9月3日(月)から20日(木)までに電話で下記へ  
●定員など詳しくは、下記「お問い合わせ」ください。  
◎ 県農業・園芸総合研究所 ☎ 022(383)8130  
http://www.pref.miyagi.jp/res\_center/

### オープンキャンパスのお知らせ

高等技術専門学校の各訓練科の内容説明や体験実習、校内施設見学を通して、ものづくりの楽しさに触れてみませんか。  
●対象/来春高校卒業予定の方やその保護者、入学を希望する若年者など  
【石巻高等技術専門学校】  
●訓練科/自動車整備科、金属加工科、木工科  
●日時/9月7日(金)午後1時～3時20分  
●申し込み/不要  
◎ 石巻高等技術専門学校 ☎ 0225(22)1719  
http://www.pref.miyagi.jp/is-kougi/

### 大崎高等技術専門学校

●訓練科/電気科、建築科  
●日時/10月6日(土)午前10時～午後0時30分  
●申し込み/10月5日(金)正午までに電話で下記へ  
※作業に適した服装と運動靴を持参してください。  
◎ 大崎高等技術専門学校 ☎ 0229(22)1357  
http://www.pref.miyagi.jp/oskogi/

### 県議会9月定例会開催

9月11日(火)午後1時から、9月定例会の本会議が開催される予定です。本会議や委員会等は傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。  
【ラウンジコンサート(開会初日)】  
●日時/9月11日(火)午後0時15分～45分  
●場所/県議会議事堂1階ラウンジ  
●出演/仙台アイリッシュハーブアンサンブル  
●曲目/グリーンスリーブス ほか  
◎ 県議会議事事務局総務課 ☎ 022(211)3571  
http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/

### 「みやぎ☆エコモーション2012」参加者募集

家庭や職場で、1カ月間、省エネ行動を実践してみませんか?9月30日(日)(消印有効)までに参加登録を行い、省エネ行動の実践結果を「宮城県自然エネルギー等・省エネルギー大賞」にご応募ください。  
●特典/応募者の中から抽選で600人の方にレジカゴバッグをプレゼント  
●応募に当たっては、東北電力の「電気ご使用量のお知らせ」8月分または9月分が必要です。  
応募方法など詳しくは、下記「お問い合わせ」ください。  
◎ 県環境政策課 ☎ 022(211)2661

### 緊急雇用対策訓練(特別訓練コース)受講者募集

●内容/玉掛け、小型移動式クレーン運転科(6日間の訓練)  
●対象/定員/18歳以上で被災により離職した方など、各校20人  
●実施機関/①白石②仙台③石巻の各高等技術専門学校  
●訓練期間/①10月24日(水)～31日(水)②10月31日(水)～11月7日(水)③11月7日(水)～15日(水)  
●申込先/各ハローワーク  
◎ 白石高等技術専門学校 ☎ 0224(35)1511  
Eメール srkogs-n@pref.miyagi.jp  
http://www.pref.miyagi.jp/srkogsn/

### 9月は廃棄物不法投棄防止強化月間

～美しいみやぎを未来へ～  
東日本大震災からの復興が急ピッチで進む中、廃棄物の不法投棄が心配されます。県では、9月を強化月間として、不法投棄を未然に防止するためのさまざまな対策を強化しています。

### 循環型社会に向け不法投棄撲滅を

県内における1件当たりの投棄量が10トン以上の大規模な不法投棄は、ピーク時の平成15年から大幅に減少しました。しかし、1件当たりの投棄量が10トン未満の不法投棄は、いまだに年間100件以上発生しています。廃棄物の不法投棄や不適正処理は、自然環境や景観を損なうだけでなく、悪臭、地下水汚染などにより私たちの健康や暮らしにさまざまな影響を及ぼさねない問題です。  
一人一人が廃棄物処理のルールをしっかりと守り、ごみの少ない社会、循環型社会を築いていきましょう。  
※有限で貴重な資源を効果的に利用し、再生産を行い、持続可能な形で循環させながら利用していく社会

### 産業廃棄物適正処理監視指導員(産廃Gメン)による監視活動

地上から細やかな監視活動を行う産廃Gメンが、日々、県内をまわってパトロールしています。

### スクイパトロール

スクイパトロールとは、地上から細やかな監視活動を行う産廃Gメンが、日々、県内をまわってパトロールしています。スクイパトロールとは、スクイパーと呼ばれる監視カメラを駆使して、不法投棄の監視活動を実施し、不法投棄防止の効果を高めています。

### 団体や企業と情報提供協定を締結

悪臭・巧妙化している不法投棄に対しては、監視の目を増やすことが求められます。投棄されやすい山間部などで事業活動を行っている団体や企業と不法投棄の情報提供に関する協定を締結し、早期発見、被害拡大の防止に努めています。

### 県境パトロール

岩手、秋田、山形、福島の各県と連携し、県境付近に重点を置いてパトロールを行っています。複雑に入り組んだ県境付近をそれぞれの県でパトロールすることにより、監視の目を隅々まで行きわたらせています。

不法投棄は「しない」「させない」「許さない」! 廃棄物の不法投棄を見つけたら、お住まいの市町村、最寄りの保健所または下記までご連絡ください。  
◎ 県廃棄物対策課 ☎ 022(211)2648 FAX 022(211)2390  
Eメール haitai@pref.miyagi.jp